

資料2－参考資料1

「伝承のオブジェ」ワーキング概要

1 事業概要

復興祈念公園における「伝承の方法」及び「後世に残す言葉」について、50年、100年経過しても普遍的に伝承できるよう、「陳腐化せず、物語性があり、『言葉』と『空気感』で5分で感受でき、風雪に耐えられるもの」として、「伝承のオブジェ」を整備する。

なお、本検討は復興祈念公園施設検討委員会とは別の会議体（ワーキング）として同時並行で進める。

2 「伝承のオブジェ」イメージ

参考資料1－1

3 ワーキングについて

(1)メンバー

基本設計監修者、オブジェ作家のほか、復興祈念公園施設検討委員のうち、気仙沼市東日本大震災伝承検討会議（平成25年度）の委員であった下記4名を選出し、山内宏泰委員を座長とする。

- ① 川島 秀一（東北大学 シニア研究員）
- ② 熊谷 正之（古谷館八幡神社 宮司）
- ③ 渡邊 眞紀（株式会社三陸新報社 専務取締役）
- ④ 山内 宏泰（リアスアーク美術館 副館長）…座長
- 監修者（槻橋修氏）／作家／事務局（総務部総務課）

(2)検討の手順・概略工程

- ① 震災の記憶として伝承すべきエピソードを収集する。
- ② エピソードを基に伝承すべき言葉を抽出・整理する。
- ③ 整理された言葉を基に、「伝承のオブジェ」の配置先を検討する。
- ④ 作家へ「伝承のオブジェ」を依頼し、オブジェの造形を検討する。
- ⑤ 「伝承のオブジェ」の完成・設置

(3)スケジュール

ワーキング	時期	検討事項
第1回	10月2日	・メンバー顔合わせ ・作家候補について ・設置計画について ・伝承すべきキーワードについて
第2回	11月中	・伝承のオブジェのエピソード整理 ・オブジェの配置先検討 →公園供用開始時に設置するものと、時間をかけて設置するものの整理
第3回～	H31年中	・オブジェの具体的形状の検討 ※作家・監修者・座長・事務局預かり

<参考：基本設計検討のために追加した委員会とワーキングの関係>

委員会・ワーキング	時期	検討事項
第5回	6/27	基本設計検討案の素案提示 ※モニュメント中心の議論
第6回	8/6	同案の絞り込み ※モニュメント中心の議論
第1回 伝承のオブジェ ワーキング	10/2	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングメンバー顔合わせ ・作家候補について ・設置計画について ・伝承すべきキーワードについて
第7回	10/10	基本設計検討案を1本化し、最終素案を完成 ＝市民説明会用資料 ※公園・モニュメントを全体的に議論&伝承のオブジェの 方向性を報告
市民説明会	11月上旬	基本設計最終素案に対する市民意見の取り込み
第2回 ワーキング	11月中	<ul style="list-style-type: none"> ・伝承のオブジェのエピソード整理 ・オブジェの配置先検討 →公園供用開始時に設置するものと、時間をかけて設置するものの整理
第8回（最終）	11月下旬	市民意見を取り込んだ基本設計最終案の提示 ⇒基本設計案策定完了
第3回～ ワーキング	H31年中	<ul style="list-style-type: none"> ・オブジェの具体的形状の検討 ※作家，監修者，座長，事務局預かり